

# OWNERS*i*

オーナーズアイ

2018 9

## 元気人ヘルシーライフ

人生の目標のために  
維持する“戦える体”



元女子バレーボール  
日本代表選手

大林素子氏

## リーダー企業の戦略を聞く

自動車部品の輸送業務を軸に  
新たな時代の企業像を描く



豊能運送株式会社

代表取締役社長 向田慎一氏

## 経営の視点



齋藤孝

「イノベーション」は  
ピカソに学べ

## 健康経営銘柄ウォッチ

ポイント型健康プログラム導入で  
社員の健康への意識を高める

株式会社ベネフィット・ワン



## トレンド企業のリーダーたち

地域密着型の専門店として  
スポーツ文化の向上を図る

株式会社スポーツハウス

代表取締役社長 織田大輔氏



## ビジネス掲示板

- ❖ 株式会社 エー・ポップ
- ❖ 株式会社 ストリーム
- ❖ 一般社団法人 りむすび
- ❖ 株式会社 富士山マガジンサービス

お届けしたのは

あなたの未来を強くする



リーダー企業の

戦略を聞く



豊能運送株式会社

代表取締役社長

向田慎一氏

自動車部品の  
輸送業務を軸に  
新たな時代の  
企業像を描く

創業75年を迎え、現在ではダイハツグループの一員として、同社の自動車部品物流の一翼を担う豊能運送。「町一番の会社」を目指して「安全」「品質」「挨拶」を三本柱に業務・風土改革に取り組み向田慎一社長に、その経営戦略を伺った。



## Profile

むこうだ・しんいち ● 1956年、熊本県生まれ。熊本大学工学部大学院修了後、81年にトヨタ自動車へ入社。トヨタ自動車ではユニット部品の生産企画、生産準備、製造等の責任者を経験する。2011年よりダイハツ工業での生産本部長を経て15年、豊能運送の社長就任。TPSの中の7つのムダとされている「運搬のムダ」を発生させない、継続して改善ができる物流会社への変革が夢。そのためにも自動車生産のお手伝いができる会社になりたいと語る。

## 組み付け部品の納入で 安定した売り上げを達成

兵庫県伊丹市に本社を置く豊能運送は、戦時中の1943年に、大阪北部の運送会社11社の企業統合で誕生した。当初は一般貨物の輸送が中心だったが、1960年代からダイハツ工業の自動車部品の輸送を開始し、同社の製造拠点にあわせて京都や滋賀、大分など各地に営業所を展開。2008年に経営者の事業承継問題を機に、ダイハツの完全子会社となり、現在は同社の部品物流の一翼を担っている。

「当社の特長は、単なる部品の運送ではなく、例えばタイヤとホイールを組み付けした

ASSY品（構成部品）として納入できることです。物流倉庫内に組み付けラインを設置し、ダイハツさまが導入しているトヨタ生産方式（TPS）による工場の完成車ラインと直結した物流体制を構築しています」と語るのは、トヨタ自動車出身で、ダイハツへの出向を経て、2015年に社長に就任した向田慎一社長だ。その他にも、生産する車両に合わせたバンパーの組み立てや、カメラ装着用ブラケットの窓ガラスへの接着などを各地の営業所で行ってから工場に納入している。

「こうした対応は、他の物流業者ではなかなかできません。ダイハツさまとの長年の取引で、社員全員がTPSによる自動車生産の流れを理解し、工程管理・品質管理が徹底できている

からこそ成り立つのだと思います」と語る。

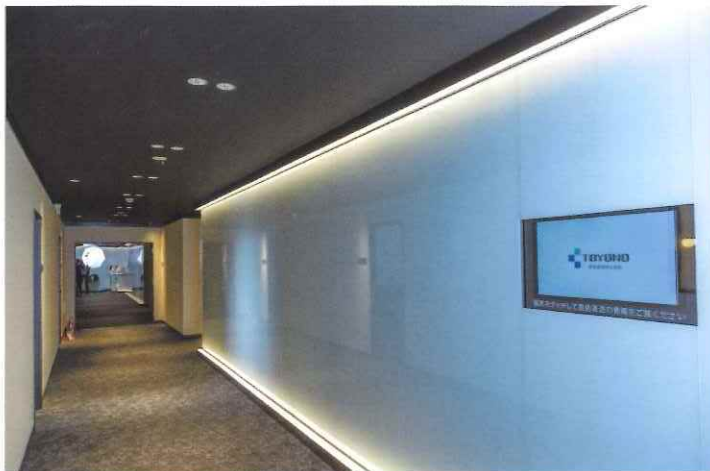
## 利益率の向上を目指し 取引先の拡大をはかる

このようにダイハツと緊密な関係にある同社だが、向田社長は過度な1社依存体制は避けるべきだと考えている。

「社長就任時、ダイハツさまの売上比率が98%でした。いまは10%ほど減りましたが、今後もダイハツさまの仕事は増やしつつ、他社さまの仕事をそれ以上に増やすことで6割程度までにしたいと考えています。1社だけでは将来的なリスクがある反面、逆に安心感もありどうしても利益率が低くなります。そこで利益率が高く、無駄のない筋肉質な企業に変えようと、昨年からの自動車企業の構内物流を始めました。さらにアマゾンさまや日本郵便さまの定期便、飲料企業の物流を手がけるなど、得意先を拡大しています」と向田社長は解説する。

さらに社員に対しても、仕事の効率を上げるため「残業時間が少ないほど収入が増えるルールづくりに取り組んでいる」と言う。

「効率よく頑張った人に報いるというのが私の経営方針です。みんなよく協力してくれて、着実に成果が出はじめています」



清潔感がありマジックテープで更新できるスローガン付き制服。

運送企業のイメージを刷新すべくデザインされたクリーンで落ち着いた社内。

## イメージを一新して 「町一番」の会社に

利益率向上を目指す一方で、向田社長は社員の安全対策や福利厚生などにも注力している。「作業安全」「交通安全」「体の安全」「心の安全」を掲げ、全車両にドライブレコーダーを完備し、目を酷使するドライバーには眼底検査やストレッチを実施。また、65歳以後も働ける制度の導入や契約保養所の利用も勧めている。

さらに旧態依然とした運送会社のイメージを一新するため、おしゃれで清潔感のあるスローガン付き制服を導入し、社内外での挨拶や礼儀などの徹底を指導している。これらは対外的イメージ向上と、人手不足に悩む運送業界におけるリクルート対策の側面もある。

「世の中が運送会社を持つイメージを払拭し、社員にはプライドと愛社精神を持って働ける会社、お客さまになくはない会社を目指します。まずは『町一番』の会社と言われることを目標にし、将来は兵庫県一、関西一、日本一、そしてゆくゆくは世界一の運送会社になる。そういう夢を持って、社員とともに歩んでいきます」と語る向田社長。その道程はまだ半ばである。

### 豊能運送株式会社

代表者：向田慎一

創業：1943年

資本金：4,140万円

事業内容：自動車部品輸送

所在地：兵庫県伊丹市北河原 5-3-8

連絡先：Tel.072-772-1800  
Fax.072-772-8686

<http://toyono-exp.co.jp/>

### Q&A リーダーに聞く

#### Q1 起床時間・就寝時間

起床は5時半。就寝は11時頃。寝る前には毎日読書をしています。月に3万円程は書籍代に使いますね。

#### Q2 愛読書

三国志が好きで「三国志演義」などを読んでいます。

#### Q3 座右の銘

「信は力なり、継続は力なり」(上杉鷹山)

#### Q4 健康に関して気をつけていること

ウォーキングを1日1万歩。今年のゴールデンウィークには朝晩6kmずつ、1日1万8,000歩歩きました。あとは食事で、野菜と納豆を毎日2回は必ず食べるようにしています。